

石原ひろたかは進めます。



GX推進
▲予算委員会でGX推進法を審議



安全保障
▲陸上自衛隊奄美駐屯地にて離島の守りを視察



核軍縮
▲核兵器のない世界に向けた国際賢人会議



子育て支援
▲子ども家庭庁設置を審議



温暖化対策
▲イギリスの環境派議員とWEB会議



国際協調
▲太平洋・島サミットの開催に尽力



災害対策
▲土砂崩れで使えなくなったトンネルを視察



再生可能エネルギー
▲五島列島沖で洋上風力発電を実証実験



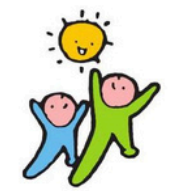
離島振興
▲離島振興法、小笠原振興法を取りまとめ



技術革新
▲自動運転タクシーの試作車を視察



災害対策
▲自公の働きかけで品川区にトイレカーを導入



自民党公認
衆議院議員候補



国力をつけ
豊かさの実感を！

石原ひろたか

前 内閣総理大臣補佐官
党 離島半島振興特別委員長

昭和39年6月19日生まれ。慶應義塾大学卒。
日本興業銀行、みずほ銀行勤務の後、
平成17年に初当選。当選5回。
環境副大臣、内閣府副大臣、外務大臣政務官、
衆議院環境委員長等を歴任。
現在、自民党環境・温暖化対策調査会事務局長。



友だち登録をお願いします。
石原ひろたかさんの政策、信念、国会や地元品川区での活動をお届けする公式ラインを始めました。ぜひ友だち登録をお願いします。



石原ひろたか事務所 〒140-0014 品川区大井1-22-5八木ビル7階 03(3777)2275

頒布責任者: 星野顕仁 品川区大井1-22-5八木ビル7階 印刷者: ウェルネットインターナショナル 東京都千代田区富士見1-7-6



もう一度国内で稼ぐ力を取り戻す！

ロシアによるウクライナ侵略、中東での紛争、中国の膨張志向など不安定さを増す国際情勢。そんな中、安定した社会基盤を持つ日本は、安全な投資先として世界の注目を集めています。この機を逃さず、日本企業の生産拠点を国内に呼び戻し、海外から日本への投資を活発化。賃金を上げ、豊かな暮らしをつくるために、もう一度「国内で稼ぐ力」を取り戻します。

石原ひろたかさんの

8つの政策

政治改革、行政・規制改革

- ① **透明性確保** 政治資金の透明化を徹底し、全ての政治資金の流れを国民の監視下におく
- ② **罰則・責任強化** 代表者の監督責任を明確化、収支報告書への不記載や虚偽記載の資金は国庫返納
- ③ **情報開示** 国の複式簿記を改善。プライマリーバランスなど、国の財政状況を示す情報を積極的に開示
- ④ **無駄を撲滅** 厳格な行政事業レビューを断行
- ⑤ **規制改革** 規制改革実行計画を着実に推進

大胆で機動的な金融・財政政策

- ① **事業者支援** 資金繰りの支援に留まらず、経営改善や事業再生を支援
- ② **能登半島復興支援** 復興支援ファンドによりいわゆる二重債務問題へ対応
- ③ **財政健全化** 基礎的財政収支目標を堅持しつつ、機動的な金融・財政政策を実施

稼ぐ力を強化する成長戦略

- ① **GX(グリーン・トランスフォーメーション)成長戦略**
 - ・ **GX債** GX債を活用し、2030年までに官民あわせて150兆円を環境技術の開発・推進に投資、気候変動対策と経済活性化を同時に達成。グリーンファイナンスに加え、トランジションファイナンスを強化
 - ・ **浮体式洋上風力発電** 2030年までに1,000万kW(100万kWで原発1基に相当)、2040年までに3,000万kW～4,500万kWに拡大。関連産業を育成し、2040年までにライフタイム全体で60%を国内調達。発電コストを2030～35年までに8～9円/kWhに低減
 - ・ **水素** 2030年に300万トン、2040年に1,400万トン導入。発電コストをガス火力(20円/Nm3)以下に低減
 - ・ **電気自動車(EV)** 1000基の水素ステーション、3万基の急速充電設備の整備により、2030年までにガソリン車並みの経済性・利便性を実現
 - ・ **住宅** 省エネ性能の高い住宅・建築物の新築や省エネ改修に対する支援を強化
 - ・ **新型電池** ペロブスカイトなど次世代太陽電池、日本が世界をリードする全固体電池などを開発・導入
- ② **DX(デジタル・トランスフォーメーション)成長戦略**
 - ・ **5G/6G** 2030年度末に5Gの人口カバー率99%を達成。現在の100倍の通信速度と100分の1の消費電力の6Gを実現。デジタル人材を育成。デジタルデバイドを解消。能動的サイバーセキュリティーを実現するための法整備を推進
 - ・ **データ連携** 医療・介護・教育・インフラ・防災に関するデータプラットフォームの整備。地方自治体などの行政手続きを5年以内にオンライン化・クラウド化し、システム費用を削減
 - ・ **マイナンバーカード** 使い勝手の向上、普及率100%

科学技術と原子力

- ① **AI(人工知能)** G7で合意した「広島AIプロセス」に沿って、国際的なAI議論を主導。AI利用の加速化のため、医療・行政・教育などのデータ連携や、人材育成、スタートアップ企業の環境整備を推進
- ② **海外からの投資** 日本社会の安定性を生かし、熊本のTSMC、マイクロソフトやグーグルのデータセンターに続く、海外から日本への投資を誘致
- ③ **原発** 徹底的な安全確認を前提に再稼働するが、できる限り削減。電源喪失によるメルトダウンの危険性のない高温ガス炉など新型原発への代替を推進。核燃料リサイクルの可能性を追求。使用済み核燃料の最終処分場を確定

社会保障、働き方改革、多様性

- ① **106万円・130万円の壁** 扶養の有無を気にせず働くための当面の対策に留まることなく、制度自体の見直しを進める。男女の賃金格差を解消
- ② **リスキング(在職者の学び直し)** AIなど時代に即したプログラム強化。テレワークを拡大。副業を容認
- ③ **共同親権** 新法の下、スムーズな離婚調停、面会交流の適正化を図る。DVからの保護を徹底
- ④ **LGBT** 法に基づき、LGBTへの理解を促進
- ⑤ **外国人との共生** 技能実習に代わる新・育成就労制度の下、海外からの人材を受け入れるため、医療や教育などの環境を充実
- ⑥ **夫婦別姓** 通称使用をさらに拡大しつつ、丁寧に議論
- ⑦ **こども・子育て** 支援加速化プランを着実に実施
- ⑧ **無人自動運転** 高齢社会の移動手段として、2027年度までに、全国100力所以上で実現

経済安保と集中投資

- ① **経済安保** 経済安保推進法で定める特定重要技術について、官民一体の研究開発を資金面も含めて全面支援。セキュリティ・クリアランスを周知徹底
- ② **半導体** 経済安保推進法に基づき半導体の国内生産能力を維持・強化。次世代半導体を実用化する基盤を2020年代に確立。半導体をはるかに超える能力を持つ光半導体の開発を推進
- ③ **先端技術** 宇宙・量子・AI・スーパーコンピューター・半導体・原子力・先端素材・バイオなどの分野での先端技術の実用化に向け、新プロジェクトを創出

強くしたたかな外交・防衛

- ① **防衛力整備** 5年で43兆円の財源を基に、防衛力を着実に強化。北朝鮮のミサイル攻撃に備え、空母・中距離ミサイルなど反撃力を拡充。尖閣諸島の警備、小笠原の中国密漁船対策を強化。海上保安庁を充実・強化
- ② **自由貿易** RCEP、日英EPA、日米貿易協定、日欧EPA、TPP11を活用して自由貿易体制を強化
- ③ **北朝鮮** 安保理決議に基づく北朝鮮への経済制裁を堅持しつつ、北朝鮮に核・ミサイル開発を断念させるため、日米韓を中心に世界各国と連携。拉致問題は対話と圧力を前提に、政府一丸となり対応
- ④ **国連・ODA** 史上最多13回目の国連安保理非常任理事国として安保理の議論を主導し、常任理事国入りを目指す。ODAを戦略的に活用
- ⑤ **インバウンド拡大** 国際観光旅客税を有効活用し、観光地の高度化、キャッシュレス決済の導入、入国手続きの迅速化など外国人観光客の受け入れ態勢を強化

島と共に歩む

- ① **国の全面支援** 日本の排他的経済水域の約4割を確保するなど、重要な役割を果たしている東京の島々を、国としてしっかり支援。特に老朽化したジェット船については、国が全面的に応援して代替を図る
- ② **本土との格差縮小** 住宅・医療・教育・産業振興など各種の施策を、各島の実情に合わせてきめ細かく実施し、定住人口を確保、本土との格差を縮小
- ③ **再生可能エネルギー** 洋上風力・太陽光・地熱発電などを導入し、島を再生可能エネルギーの生産拠点に
- ④ **小笠原空路** 世界自然遺産にふさわしい空路を実現